

Awara News

あわらニュース vol.74

平成30年8月1日発行

「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をとおして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。



「第4回市民公開講座」を開催して

理学療法士長 仲谷 武登

6月23日、北潟公民館にて第4回市民公開講座を開催しました。当院の医師・理学療法士から『熱中症』と『認知症』についてお話をさせていただきました。

熱中症予防については、よく公共メディアでも水分補給・休養・睡眠を強調されていますが、この講演と質疑応答では具体的な水分補給と各家庭の環境に即したアドバイスを行い、参加者の方々は熱心にメモをとっておられました。

認知症については、その診断や治療の話、そして認知症テストや予防につながる体操を実際に体験してもらうことで、楽しみながら学んでいただきました。社会的に関心の高まっている車の運転への影響や運転免許返納など、その解決の一助になったかと思います。

これからも皆さんに关心のあるお話を情報発信していきたいと考えています。

意思疎通と意思決定



診療部長
川満 徹

人の心を読むのは難しい。ちょっとした事象に対してのその人の感想がどういったものかを推し量ろうとしても、当人が黙っている限りなかなか正しい答えを探し当てれない事も多い。

ましてや、自分の行く末についての思いや重要な人生の上での意思決定などとなってくると、自分自身でも様々な葛藤や複雑な思いが交錯して整理された回答を見出しえない場合もあって、そうなると尚更傍目からはその人の思いや考えを正確に把握して正答に辿り着くというのは困難になってくるのではないだろうか。

私は職業柄、毎日の様に意思疎通を図る事が困難な患者さん達と接している。言葉で自分の考え方や思いを訴えてくるのが困難な患者さんが多くを占める。こちらの言葉を

理解する事も不可能な患者さんも多い。

こういった環境の中で、多少とも彼らの支えにならうとすれば、彼らの表情や態度は本より、医療的なサインの変化が出ているのか等を参考にして接していく、問題点を見出し、そしてその解決を図る様に努めていくしかない。

単なる苦痛の把握とその緩和という事であればそれでも済むかもしれないが、もっと複雑な問題になってくると、本当にこちらが彼らの言わんとする所をちゃんと受け止められているのかハッキリ言って自信は無い。

意思決定の問題が今後より重要になってくると言われる時代に、私たち現場のスタッフは、個々の症例それに於いて、何が適切な対応なのかを何度も考えながら、正解があるとしたら少しでもそれに近づける様に努力していく必要があるのだろう。



当院における高齢者終末期医療

老年科長 森田 敦

当院での高齢者終末期医療では「疼痛が全くない状態」を目標に、緩和ケア認定看護師、臨床心理士も含めたチーム医療で癌患者・非癌患者ともに麻薬を含めた積極的かつきめ細やかな疼痛コントロール、心理面でのサポートを実施しています。最期の時を患者さんと御家族の方が希望する場所で迎えられるように地域の医療機関および施設と連携をとっています。在宅での看取りを希望される患者さんには当院を含めた訪問診療・訪問看護を導入して御家族の方の負担や不安を可能な限り軽減できるようにしています。そのような患者さんが急に体調を崩されたり、御家族の方の都合が悪くなった時は当院に入院していただくことも可能です。施設での看取りを希望される

患者さんの場合、御家族や施設の職員と主治医の間で会議を開き、退院後できるだけ穏やかに過ごせるように調整しています。当院での看取りを希望される患者さんでも状態が安定している時には外出・外泊を積極的に勧めています。福井市内などの急性期病院に入院および通院している患者さんで、最期の時をあわら地区で迎えたいと希望される方の転院も積極的に受け入れています。今後、終末期を迎える高齢者が増えるにあたって、患者さんおよび御家族の方が希望する場所で穏やかに最期の時を迎えるように力を尽くしていきます。





地域医療連携施設のご紹介

あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

西岡医院



西岡医院

〒910-4104 福井県あわら市温泉5-3 TEL(0776)77-2138
診療科目:内科、循環器科、小児科

平成26年に大学の先輩である西岡先生より、当院を引き継いでから4年が経ち、5年目の今年もほぼ折り返しのところとなりました。この4年半の間、いろいろな出来事がありましたが、地域の皆さんに支えられ、診療を続けることができました。ありがとうございます。

微力ではありますが、これからもスタッフ一同、皆様の病気療養・健康維持のお手伝いを続けて参りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

地域の医療機関の先生方やスタッフの方々、ケアセンターや介護施設のスタッフの方々には、当院では至らない点を助けていただいており、感謝いたしております。

なかでも、あわら病院の先生とスタッフの方々には、入院治療が必要になった患者さんの受け入れ、専門分野の診断や治療、委託検査など様々な面で当院からの依頼を受けていただき、大変ありがとうございました。

これからもご負担をお願いするかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

院長 上谷 義尚

診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
内 科	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診日 日曜・祭日
循環器科								
小 児 科	14:00~18:00	○	○	○	×	○	×	木曜午後・土曜午後

逆流性食道炎について

診療放射線技師 佐野 常昭

「胸がちりちり焼ける感じ」、「すっぱいものが口の中にあがってくる」などの症状でお困りはありませんか?この様な症状があれば、それは逆流性食道炎かもしれません。その他、喉の違和感や慢性的な咳など、一見他の臓器の疾患のようにみえる症状が、実は胃酸などの逆流によって引き起こされている可能性もあります。

薬を飲んでいるけど症状が改善しない、症状が胃酸逆流と本当に関係しているのか調べたい場合などに、当院では内視鏡検査(胃カメラ)の他、必要に応じ24時間pHモニタリング検査を行っています。

24時間pHモニタリング検査とは、センサーのついた細いチューブを鼻から食道の中へ留置したまま一日普段

の生活を送り、胃からどの程度食道に胃酸があがってきたのかを調べます。当院では、基本的に入院での検査となります。自宅で日常生活を送りながらの検査も可能です。24時間のpHの値を解析し、検査中に日常生活の行動を記載した行動チェック表と照らし合わせることで、原因に応じて適切な生活・食事指導、薬物治療などを受けることができます。検査をご希望の方は、お気軽に外来までお問い合わせください。



実際の装着例

外来担当医表

(平成30年8月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総合	内科	津谷 寛	津谷 寛	見附 保彦	見附 保彦	宮崎 晋介
	小児科	川満 徹*	川満 徹*	川満 徹*	湯浅 光織*	川満 徹*
専門	リウマチ			津谷 寛	津谷 寛	
	血液・腫瘍			浦崎 芳正*	大槻 希美	
	生活習慣病			鈴木 友輔(第2・4)		
	老年					棄田 敦(第1・3・5)
	神経			遠藤 芳徳(第1・3・5)		
	循環器	見附 保彦	見附 保彦			
	外科	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢
	整形外科	浅井 一希				
	眼科				吉岡 達也*	
	皮膚科		若原 真美			若原 真美
	地域ケア	鈴木 友輔				
	禁煙外来	見附 保彦	見附 保彦			

●受付時間8:30～11:30 ●黄色枠は予約制 ●*印は午後診察 ●休診日／土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中(9:00～11:00)です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日(8:30～11:30)です。

療育指導室便り『相談支援専門員って…』

児童指導員(相談支援専門員) 小林 真理

障害者総合支援法に基づくサービスを利用する際には必ず「サービス等利用計画書」又は「障害児支援計画書」が必要となり、相談支援専門員がその計画を作成します。

あわら病院も平成26年9月より特定相談支援事業を開始し、当院の療養介護利用の方の相談支援に携わっています。相談支援専門員の主な仕事は、①アセスメント(希望する生活、心身の状況や環境、支援する上で解決すべき課題を把握)。②「サービス等利用計画案」の作成。③「サービス担当者会議」の開催。④「サービス等利用計画書」の作成。⑤定期的なモニタリングです。また、相談支援専門員はどの場面においても利用者・ご家族に寄り添い、自己決定できるようにサポートをする役割を担っています。

平成30年4月の報酬改定では今まで以上に相談支援の「質と専門性の高い支援」が求められるようになりました。地域の関係機関と連携を取りながら、自分自身も自己研鑽し、専門性を高めていきたいと思います。



独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北潟238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249
(地域医療連携室) TEL.0776-79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261
URL <http://www.awara-hosp.jp/>

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科
老年内科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)
乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)
乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]